

## 6. 道路交通等の一般シナリオに基づく課題抽出

前章では、被害想定結果をもとに起こり得る事態を想定し直面する課題を抽出した。しかし被害は、震源位置、季節、時間帯などの不確定要素の影響を受けるので、この通りに被害が発生するということはない。

このため、本章ではこれまでに抽出された課題を踏まえた一般的なシナリオを描くことを通して、新たに想定される課題を見出す。

### (1) 一般シナリオの概要

一般シナリオは、各シナリオに含まれる局面に応じて以下の4種類を作成した。各シナリオの概要と主要な想定内容は以下のとおりである。

#### ①地震発生直後における体制構築・職員参集などのシナリオ

主な想定内容…事務所に在所する職員の行動

帰宅している職員の行動

これらの行動に影響を及ぼす被害や道路交通状況

#### ②施設等の点検等、他事務所応援などのシナリオ

主な想定内容…出張所職員の行動

他事務所からの応援者の行動

施設点検を行う協定業者の行動

これらの行動に影響を及ぼす被害や道路交通状況

#### ③道路啓開・応急復旧などのシナリオ

主な想定内容…道路啓開・応急復旧を指揮する事務所の行動

応急復旧の現場に向かう業者の行動

これらの行動に影響を及ぼす被害や道路交通状況

#### ④孤立地域の救出、医療機関などのシナリオ

主な想定内容…孤立地帯の救出を行う自衛隊の行動

被災者の救助を行う消防等の医療機関の行動

これらの行動に影響を及ぼす被害や道路交通状況

### (2) 一般シナリオの想定結果

一般シナリオの想定結果は、**図 6-1**~**6-4** のとおりである。これらの一般シナリオから得られた新たな課題を**表 6-1** に整理する。

抽出済みの課題

新たに見出した課題

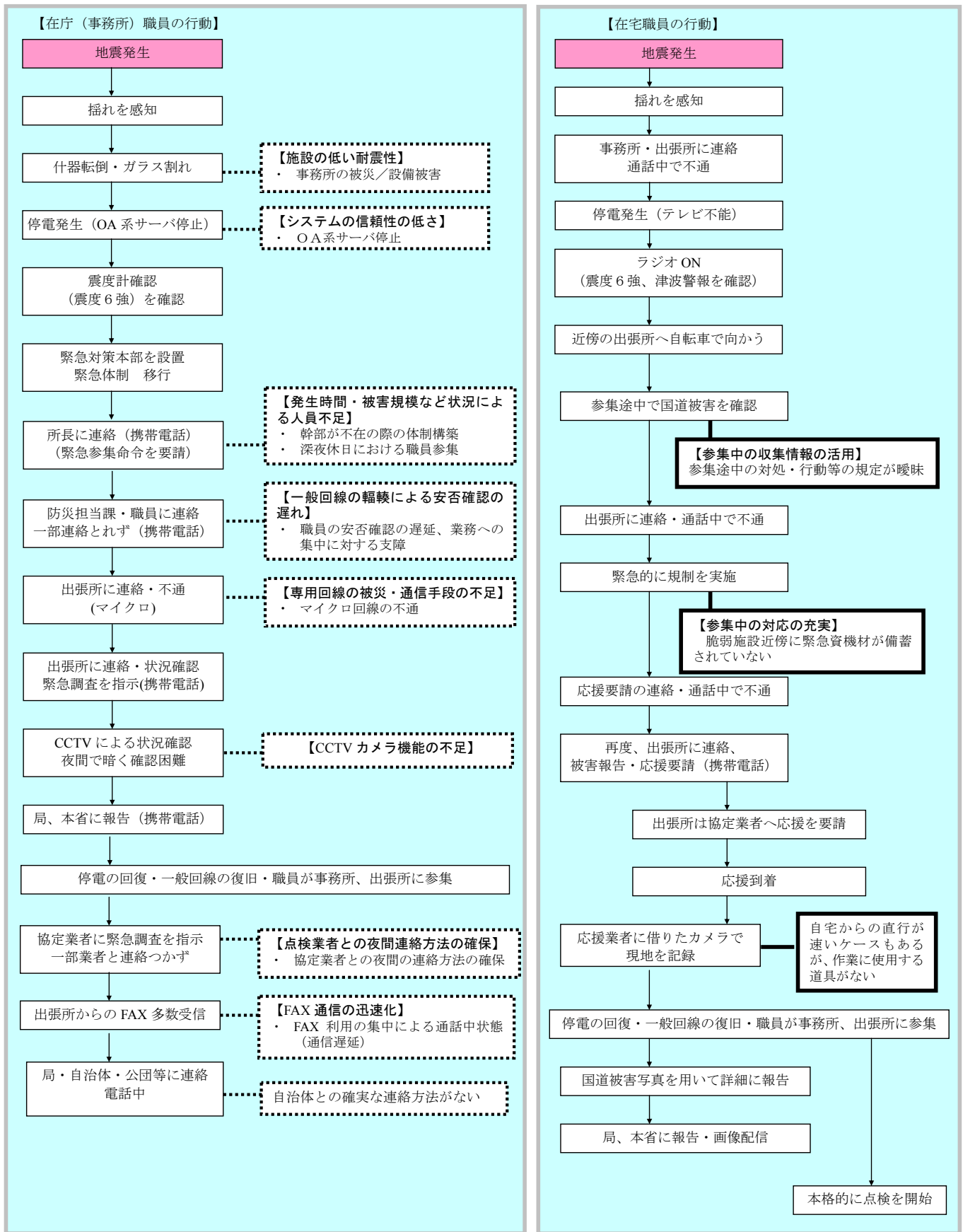
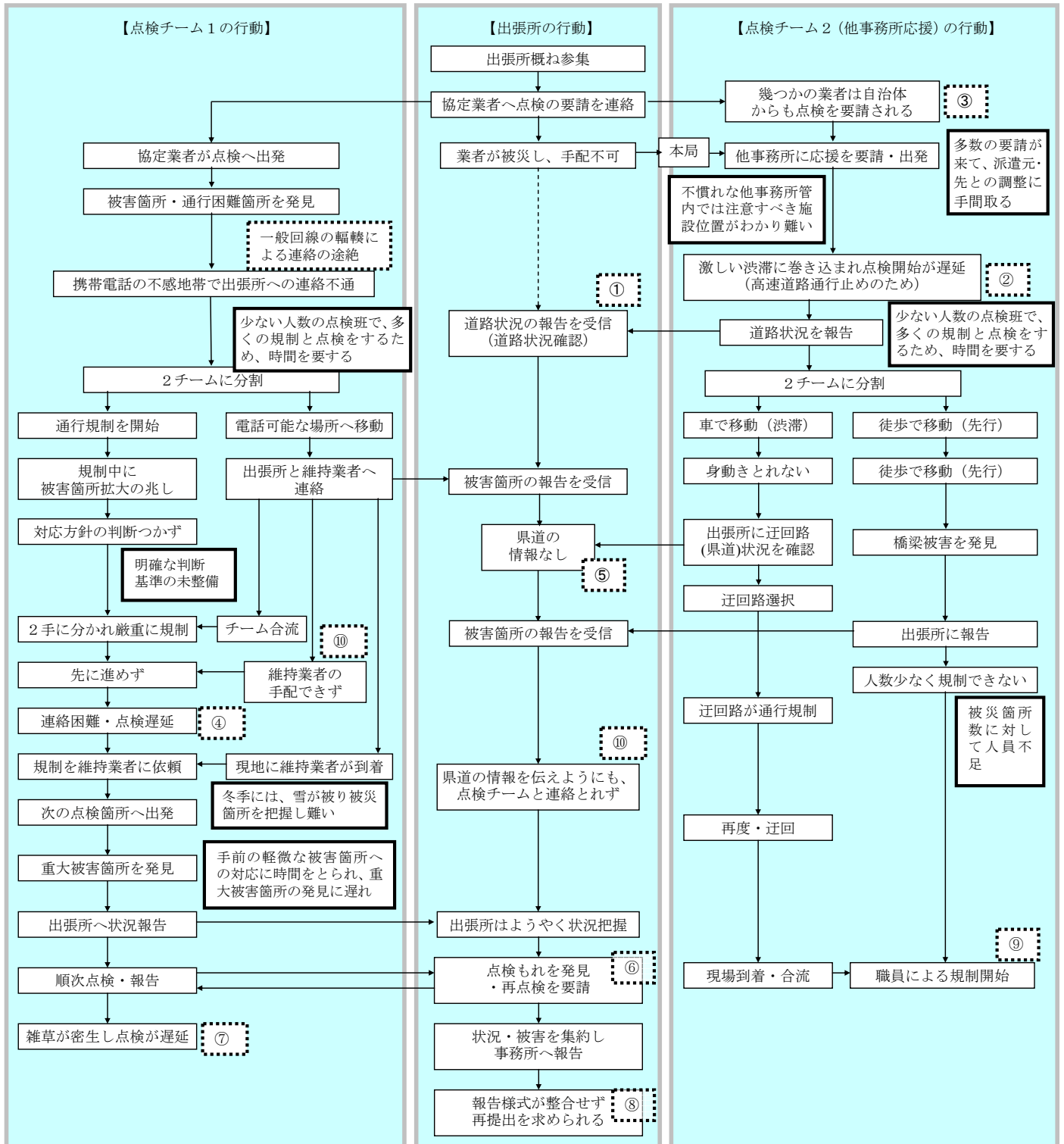


図6-1 地震発生直後における体制構築・職員参集などのシナリオ

⋯⋯⋯ : 抽出済みの課題      □ : 新たに見出した課題



- ①【巡回点検開始直後の情報空白期の存在】
  - ⇒ 点検開始後、状況報告が入り出すまでには時間が必要
- ②【緊急車両等の通路確保】
  - ⇒ 高速道路の通行止めの影響で国道が渋滞し点検が遅延
  - ⇒ 放置車両等が点検に支障をきたす恐れ
- ③【一般に包括的な協定】
  - ⇒ 業者が複数機関と協定の可能性
  - ⇒ 大規模被害時における委託業者の確実な確保
- ④【点検作業の遅れ】
  - ⇒ 大規模被害の有無確認や的確な絞った点検により時間短縮が可能
- ⑤【関連機関との情報共有不足】
  - ⇒ 自衛隊への情報提供(自衛隊は有用だったとのこと)
  - ⇒ 電話回線の輻輳などもあり、関連機関(県)の交通規制情報が入手できず、迂回路設定に時間を要した。
  - ⇒ 市町村との協力体制の必要性を感じた。
- ⑥【点検基準・要領の未整備】
  - ⇒ 職員、協力会社、外部協力など、種々の主体が点検を行うが、基準・要領がなく点検結果にばらつきが生じるおそれあり。
  - ⇒ 構造物の点検要領などを作成して欲しい。
- ⑦【維持作業の徹底の必要性】
  - ⇒ 重要構造物近辺は、地震時に容易に点検できるよう除草などを行っておくべき。
- ⑧【報告様式の使い勝手】
  - ⇒ 対応初期に報告様式が使われなかった
- ⑨【指示系統によらない指示による現場の混乱】
  - ⇒ 本省、局などからの多数の画像伝送等の要請
  - ⇒ 出張所～事務所～本局間の情報伝達における一貫性の欠如
  - ⇒ 事務所の指示系統を一本化すべきである。
- ⑩【一般回線の輻輳による点検者との連絡の途絶】
  - ⇒ 携帯電話しか持たない業者との連絡が途絶

図6-2 施設等の点検等・他事務所応援などのシナリオ

⋯⋯ : 抽出済みの課題       : 新たに見出した課題

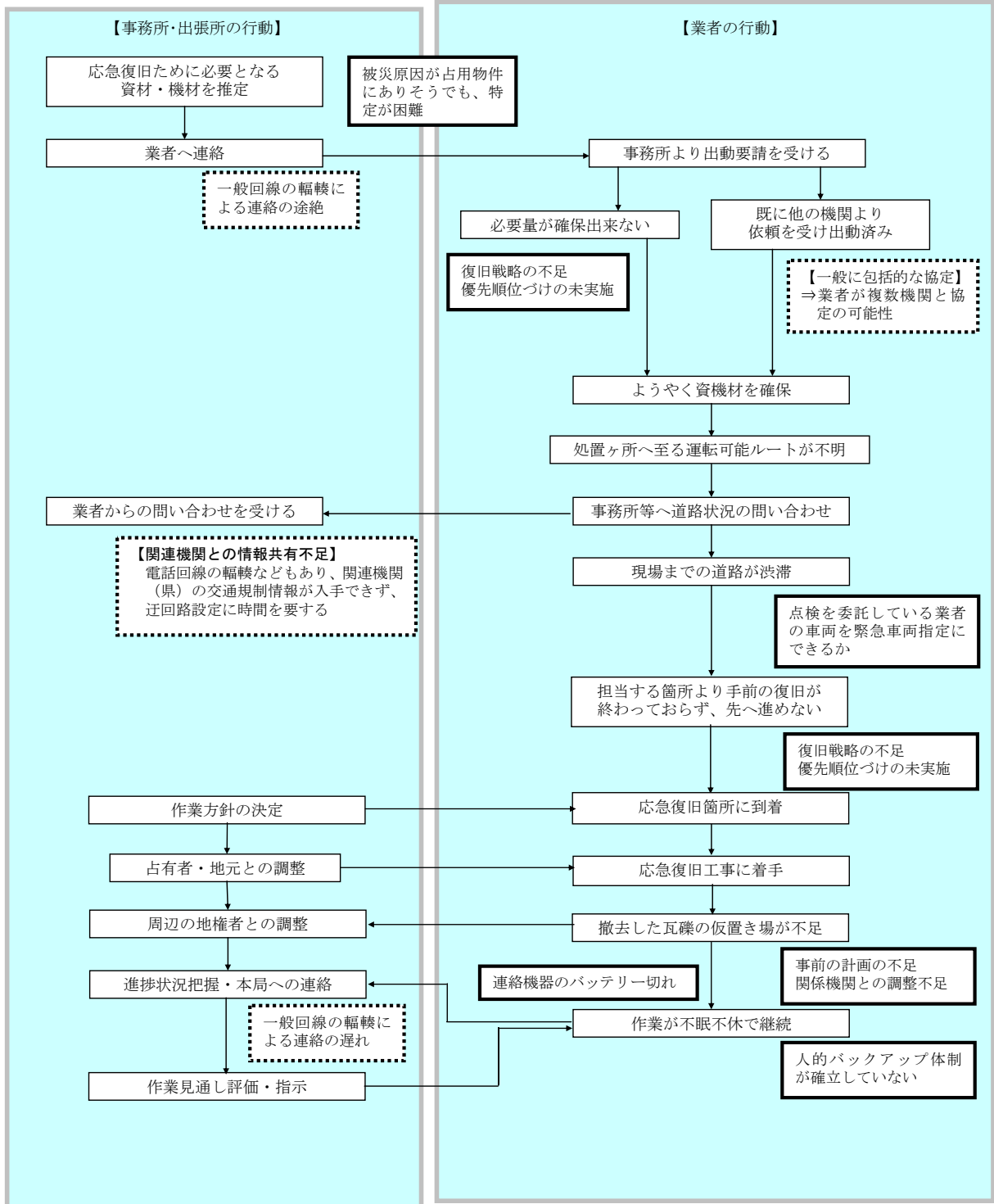
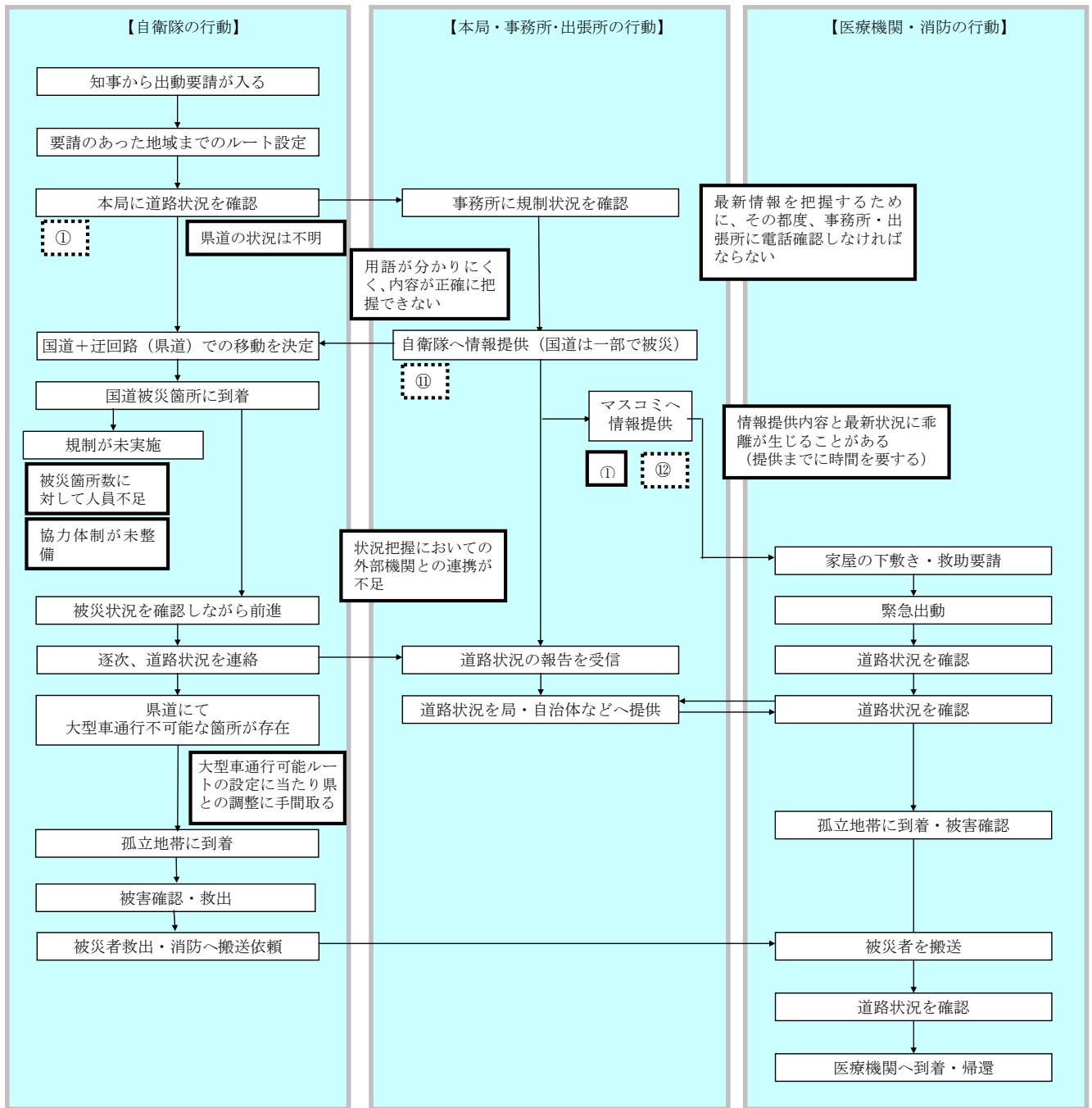


図6-3 道路啓開・応急復旧などのシナリオ

抽出済みの課題

新たに見出した課題



①【関連機関との情報共有不足】

⇒ 自衛隊への情報提供(自衛隊は「有用だった」とのこと)

● 電話回線の輻輳などもあり、関連機関(県)の交通規制情報が入手できず、迂回路設定に時間を要した。

▲ 市町村との協力体制の必要を感じた。

②【マスコミ対応などによる負荷】

⇒ 円滑なマスコミへの情報提供のため、対応専門の職員、部署を設置

● 管轄外の情報が不明で、一般からの問い合わせに適切な回答が出来ない場合があった。

①災害時における緊急道路情報集約センターの機能の配備

・ 国交省は、自らが情報を収集するだけでなく、災害時に緊急的に活動を行う自衛隊や医療機関、マスコミなどからも情報を収集

・ 高速、国道、県道などを問わず、全道路情報を収集・集約・提供

図6-4 孤立地域の救出、救急医療などのシナリオ

表 6-1 一般シナリオより得られた知見

	想定される事項
①地震発生直後における体制構築・職員参集などのシナリオ	<p><b>【事務所機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体との確実な通信手段の確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体との専用回線／一般回線のホットライン化</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【職員参集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○参集中の対応の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地近傍への緊急資機材の備蓄</li> </ul> </li> </ul>
②施設等の点検等、他事務所応援などのシナリオ	<p><b>【点検】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○点検チーム（班）の柔軟性確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動中のチーム分割ルール（マニュアル化）</li> </ul> </li> <li>○明確な点検基準の作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検マニュアル作成</li> <li>・対応優先順位の事前検討</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【他事務所の応援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他事務所応援の有効活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地勘のない応援者への道路情報の提供</li> <li>・通常管理しない施設の概要情報の提供</li> </ul> </li> <li>○人員不足の場合の住民等への協力依頼               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への協力依頼方法（マニュアル化）</li> <li>・担当してもらう作業の範囲、危険性の考慮（マニュアル化）</li> </ul> </li> </ul>
③道路啓開・応急復旧などのシナリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○復旧戦略の不足、優先順位付けの未実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害想定などに基づく事前の復旧戦略づくり</li> </ul> </li> <li>○他機関との事前調整</li> </ul>
④孤立地域の救出、医療機関などのシナリオ	<p><b>【事務所機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事務所への緊急道路情報集約センター機能の配備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省は、自らが情報を収集するだけでなく、災害時に緊急的に活動を行う自衛隊や医療機関、マスコミなどからも情報を収集</li> <li>・高速、国道、県道などを問わず、全道路情報を収集・集約・提供</li> </ul> </li> </ul>